

# 意見の合わない友だちとも 気持ちよく

今度、社会の授業でペアを組んで発表をする。相手の  
潤一とは気が合わなくて、なんとなく苦手。林間学校の  
班でも郷土学習の班でもいっしょで、いつも意見が  
食いちがってしまう。また気まずくなったらどうしよう。



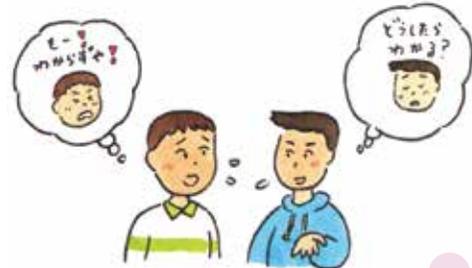
## 尊重し合う気持ちを忘れないで

相手と意見が食いちがうと気まずかったり、わかってほしいのに！と悲しくなったりイライラしたりするよね。でも、それは相手も同じじゃないかな。自分がどう考えるか自由であると同じように、相手がどう考えるかも自由。だから、気持ちよくつきあいたいと願うなら、自分の考えだけでなく、相手の考えを尊重する気持ちを忘れてはいけないんだ。最初から否定しないで、まずは相手の考えに耳をかたむけること。むずかしいことか



もしれないけれど、「そういう考え方もあるんだな」と理解するうちに、相手の意見の面白いところに気づくかもしれない。もっといいアイデアが生まれるかもしれないよ。

ちがうことは悪いことではないんだ。ちがうところがあるからこそ、発見があり、おどろぎが生まれる。意見のちがう相手と話すのは、新しい考え方を知って世界を広げるチャンス。ちがう意見を楽しんでみようよ!



## 考えてみよう!

- 自分とちがう意見の人がいたらどんな気持ちになる?
- 第一印象で賛成できない意見をあとでもう一度考えてみたら、ちがう印象になったかな?

### 世界人権宣言

#### 第1条

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、たがいに同胞の精神をもって行動しなければならぬ。

# みんなで話そう!

## きみはどう考える?

意見が合わない人と、きみならどうつきあう?



波風を立てたくないから、相手の意見に無理して合わせちゃう。でも、自分の意見も聞いてほしいと思うから、勇気を出して言ってみようかな。



ダイゴとは意見が合わなくてケンカになることも多いかな。おたがい、ゆずらないからね。でも、思っていることを言い合うとスッキリするよ。



気が合わないなら、無理につきあわなくてもいいと思うな。疲れるし、いやな思いをするのはかんべんだわ。



謙作はいばっていて苦手だと思っただけで、グループ学習のとき話したら、優しいやつだったよ。苦手だと決めつけしないで話してみると、知らなかった面を発見することがあると思う。

### キーワード

#### 価値観

なにを大切にし、なにをよいと思うかを判断する、自分の考え方。

## 尊重するってどんなこと?

尊重とは相手の気持ちや意見を大切にすること。自分の意見や価値観を大切にすることもよいことだけど、自分の考えにこだわりすぎると頭が固まって、ほかの人の意見が耳に入らなくなるよ。相手の話をきちんと聞いて、こんな考え方もあるんだと柔軟に受け止めよう。



# た すう けつ 多数決って びょう どう 平等じゃないの？

たの かい  
お楽しみ会で「レクリエーションゲームをやる」か  
「アニメを観る」で意見が割れた。多数決で「ゲーム」に  
なっただけど、不公平だと言出す子がいて……。  
た すう けつ びょう どう ほう ほう  
多数決は平等な方法ではないのかな。

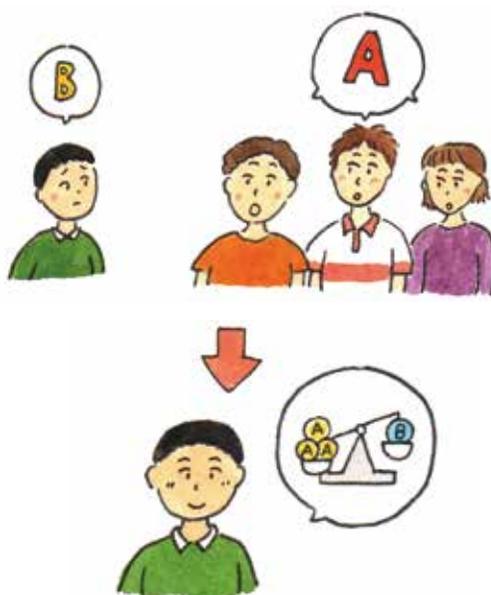


## みんなの気持ちをひとつにまとめるには

た すう けつ  
多数決は、みんなの意見をまとめる時  
の、ひとつの方法だよ。民主主義の社  
会において、物事を決めるとき、わか  
りやすく手取り早いやり方だ。でも、  
た すう けつ ぜったい びょう どう  
多数決なら絶対に平等かという、少し  
ちがうかもしれない。

民主主義では、多数決の原理と、少数  
の権利を守ることのふたつが必要だとう  
たっているよ。多数派は少数派の意見  
を大切にしなければならないということ  
もおぼえておこう。

賛成する人が多いからと言って、それ  
が正しい意見だとは限らない。みんな  
で楽しくすごしたいから、いろいろな人  
の意見をできるだけ平等に反映できると  
いいよね。



たとえば、「時間を決めて、A.レクリエーションゲームとB.アニメ映画鑑賞の両方をやる」のだっていいかもしれない。より多くの人々が納得する方法を考えてみよう。

### キーワード

#### 民主主義

こく じん  
国民ひとりひとりが主役になり、国民全体がしあわせになるため、話し合いながら政治をしようという考え方のこと。

### かんが 考えてみよう！

- 多数決で決めることは、絶対に正しいのかな？
- どんな決め方をすればいいと思う？

## みんなで話そう！

# きみはどう考える？

なにかを決めなくてはならないとき、  
「多数決で決める」ことについて、どう思う？

**自分**が少数派の意見だったら、不満を感じるかもしれないな。本当に平等だと思うのは、くじ引きとか、あみだくじとか、運にまかせる決め方かな。でも、くじじゃ、大事なことは決められないかな？

やっぱり多くの人が賛成している意見に従うべきだと思うから、多数決はいい方法だと思う。ただ、いろいろな意見の長所と短所をちゃんと考える必要があるよね。

仲がいい人の意見が気になっちゃう性格なの。だから、多数決でも、友だちに合わせちゃう。本当は、全員が納得するまで話し合うのが、一番平等だなんて思う。時間がかかるかもしれないけど……。

多数決も大事だけど、みんなそれぞれ個性があるから、少数意見にはいつも耳をかたむけた方がいいと思う。そうすると、ひとりひとりのことがよくわかって、相手を尊重する気持ちも自然に生まれるような気がするな。

### びょう どう 平等ってどんなこと？

平等とは、差別されないこと。出身国や性別、お金があるかどうか、どんな言葉を使っているか、どんな宗教を信仰しているかなどに関係なく、だれもが人間として同じあつかいをされることをさすんだ。もし、世界中の決めごとを多数決だけで決めていたら、人口の少ない国の人びとや、少数民族の人びとの意見は、反映されにくいかもしれないよね。少数派の人びとの意見も公平に反映されるために、なにかくふうをする必要があるんじゃないかな。



# 授業中さわりでは いけないのはなぜ?

授業中に先生の話<sup>せんせいのはなし</sup>を聞かないで、友達としゃべって注意<sup>ちゅうい</sup>されたので、「ぼくには表現<sup>ひょうげん</sup>の自由<sup>じゆう</sup>という権利<sup>けんり</sup>がある!」と主張<sup>しゅちよう</sup>した。そうしたら先生は「クラスみんなには、授業<sup>じゅぎょう</sup>を受ける権利<sup>けんり</sup>がある。それをじゃまするのは許<sup>ゆる</sup>されないよ。」だって。



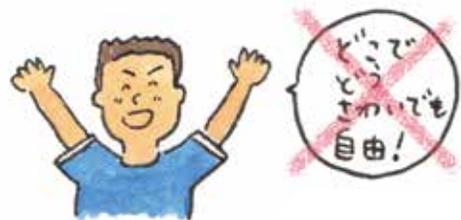
## 「権利<sup>けんり</sup>の濫用<sup>らんよう</sup> (乱用)」をしてはいけない

みんなが授業<sup>じゅぎょう</sup>を受ける権利<sup>けんり</sup>を侵害<sup>しんがい</sup>してまで、自分の表現<sup>ひょうげん</sup>の自由<sup>じゆう</sup>を保障<sup>ほしょう</sup>しろというのは権利<sup>けんり</sup>の濫用<sup>らんよう</sup> (乱用) といって、権利<sup>けんり</sup>の正しい使い方<sup>ただつかいかた</sup>ではない。このように、だれかの権利<sup>けんり</sup>とほかの人の権利<sup>けんり</sup>がぶつかるとは社会<sup>しゃかい</sup>でもよくあるけれど、そんなとき、みんなが自分の権利<sup>けんり</sup>ばかりをみとめるとさわりだら社会<sup>しゃかい</sup>は大混乱<sup>だいこんらん</sup>になってしまうよね。それを防ぐために、おたがいの権利<sup>けんり</sup>や人権<sup>じんけん</sup>を大事<sup>だいじ</sup>にする義務<sup>ぎむ</sup>



がある。これを「権利<sup>けんり</sup>・人権相互尊重<sup>じんけんそうごそんちよう</sup>の義務<sup>ぎむ</sup>」というよ。

自分の権利<sup>けんり</sup>をみとめてほしければ、相手の権利<sup>けんり</sup>も大事<sup>だいじ</sup>に考えなければいけないってわけだね。周りの人に迷惑<sup>めいわく</sup>をかけたり、社会<sup>しゃかい</sup>のルールに反<sup>はん</sup>したりするような権利<sup>けんり</sup>の使い方はまちがっているし、みとめられない。だれもがさまざまな権利<sup>けんり</sup>を与<sup>あた</sup>えられているけれど、より大切な権利<sup>けんり</sup>を守るために、そのほかの権利<sup>けんり</sup>が制限<sup>せいげん</sup>されることもあるってことをおぼえておこう。これは、おとなも子どもも同じだよ。



## 考えてみよう!

- 自分の権利<sup>けんり</sup>が、ほかの人の権利<sup>けんり</sup>のために侵害<sup>しんがい</sup>されているって思ったことはある?
- 権利<sup>けんり</sup>を主張<sup>しゅちよう</sup>しすぎて、だれかの権利<sup>けんり</sup>を侵害<sup>しんがい</sup>していることはないかな?

### 民法<sup>みんぽう</sup>

#### 第1条第3項

権利<sup>けんり</sup>の濫用<sup>らんよう</sup>は、これを許さない。



## きみはどう考える?

だれかの権利<sup>けんり</sup>と、ほかの人の権利<sup>けんり</sup>がぶつかってしまったら、どうやって解決<sup>かいけつ</sup>していけばいいだろう。



ひとりの権利<sup>けんり</sup>より、たくさんの人の権利<sup>けんり</sup>を守るべきだと思うな。

人数<sup>にんずう</sup>の多<sup>おほ</sup>さで決めるのじゃなく、どっちの権利<sup>けんり</sup>が正しいかが決め手だよ。もし授業<sup>じゅぎょう</sup>中自由<sup>じゆう</sup>にさわぎたいって人が多くても、授業<sup>じゅぎょう</sup>を受ける権利<sup>けんり</sup>のほうが大切<sup>たいせつ</sup>で守られるべきだと思う。



どちらも同じくらい大切<sup>たいせつ</sup>な権利<sup>けんり</sup>の場合だとむずかしいね。おたがいに少しづつがまんしたり、話し合<sup>はな</sup>って決めるしかないのかな。



権利<sup>けんり</sup>がぶつかっている人どうしたと、どうしても自分の権利<sup>けんり</sup>を通<sup>とお</sup>したいと思うだろうから、第三者<sup>だいさんしよ</sup>に相談<sup>そうだん</sup>してみるといいんじゃないかな。



## おたがいの権利<sup>けんり</sup>を尊重<sup>そんちょう</sup>しよう!

子どもの権利<sup>けんり</sup>条約<sup>じょうやく</sup>には、子どもの権利<sup>けんり</sup>を保障<sup>ほしょう</sup>するのは、親<sup>おや</sup>と国<sup>くに</sup>、つまりおとなの義務<sup>ぎむ</sup>だとかいてある。だけど、子どもにも、友だちの権利<sup>けんり</sup>を尊重<sup>そんちょう</sup>する義務<sup>ぎむ</sup>があるんだ。おたがいに相手の権利<sup>けんり</sup>をみとめあい、尊重<sup>そんちょう</sup>する「権利<sup>けんり</sup>の相互尊重<sup>そうごそんちよう</sup>の義務<sup>ぎむ</sup>」があることで、みんながしあわせに生きていくことができるんだよ。

